

◆ 2021 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 ジョイライフさやま

24A-02

代表者：代表理事 久保田 慎三郎

URL : <http://www.joylife.or.jp>



1. 活動が必要とされた状況

最近、世界の自然が衝撃的なスピードで破壊されていくニュースを見ることが多くなりました。私どもの周辺でも自然破壊の光景に出会うことがあり、自然環境の大切さを伝えられる活動を広めていきたいと感じます。小さな一歩から人々を喜ばせる環境へ作り上げる喜びにつながる活動をしていきたいと思う毎日です。



2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

6月6日、コロナ禍の中、自粛が解除された合間を縫って行われた久々の田植えです。田植え後の泥んこ遊びでは、泥へのダイブ、金魚すくい、泥スキーなどをする子どもたちの歓声を聞くことができました。申し込みが多く参加者を制限しての開催となり初夏の晴天に恵まれ、大人12、子供16の参加となりました。スタッフ等11名の合計39名の田植えでした。



3. 活動の成果

9月23日、全国一斉海ごみゼロウイークに参加。水辺周辺整備清掃活動における状況を埼玉テレビの取材により撮影され、マチコミ番組の中で放映されました。この日も多くのごみを拾いましたが、不法投棄物では撮影中、大型洗濯機、鉄板類の投棄もあり県管轄の事務所へ引き上げをお願いしました。今まで冷蔵庫、洗濯機、電気釜、テレビ、衣類などの不法投棄もあり、マナーの悪さにあきれられるばかりです。



4. 今後に残された課題

コロナ感染症により環境学習のイベント事業は自粛、中止となり、環境保全の大切さを子供たちと勉強することができず、残念な1年となりましたが、水辺の整備清掃活動は続けて行うことができ、市民の憩いの場所となるポケットガーデンも着々と完成に近づいていると感じています。ガーデン通路、手摺、看板類、花壇づくり、

あづまやなどを完成させていきたいと思えます。

今期は、11月に明治記念館で行われた緑の都市賞に応募し、全国10団体に与えられた奨励賞賞金をいただき、2月に行われた彩の国埼玉環境大賞では名誉ある大賞に選ばれるなど、オフラインでの活動ができなかった分、充実した1年でした。